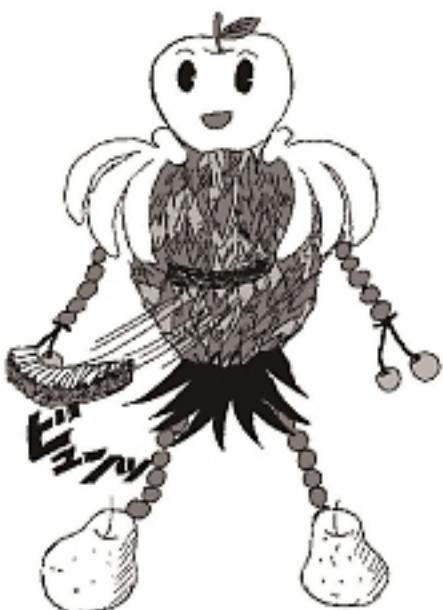


たたかえ！ ヒガシヤマン

必殺！悟空！ round32



今回の
敵キャラ

巨大フルーツ怪人 【必殺技】フルーツカッター

身体の一部であるフルーツを輪切りにして飛ばして攻撃する。とくにパインアップルは、皮のトゲトゲが当たると痛い。気に入った相手には身体のフルーツをふるまう。

【考案者】高瀬 真希

京都女子大学の4回生です。残りの学生生活楽しみます。ただ今、東山青少年活動センターでは「東山コトハジメ」というクレイアニメをつくる活動をしています。巨大フルーツ怪人もアニメに出演しています(笑)。

興味のある人はどしどしご参加ください！

東山青少年活動センターにひそかに存在するキャラクター・ヒガシヤマン。彼は傷ついている。
「……そんなに似てるかな、バナナに……」

気に入られてよかったですよかったです探し。がんばれ、ヒガシヤマン！

文：筒井加寿子



ヒガシヤマンの返し技

【必殺！悟空！】

早いものでもう年末。ヒーロー養成所の忘年会で一発芸を任されたヒガシヤマンは、鴨川河畔で仲間とともに寸劇「東遊記」を練習中だ。主人公・孫悟空に扮したヒガシヤマンが多数の雑魚敵に囲まれたそのとき、巨大フルーツ怪人が現れた！小道具の如意棒で応戦しようとしたヒガシヤマンであったが、必殺・フルーツカッターを浴びせられたのは雑魚敵役の同級生たちだけ。多数の同級生が苦しみで動けないなか、フルーツ怪人は自分の肩にそっと手をやりながらヒガシヤマンに微笑みかけると、無言のまま去っていった。

ヒガシ ガシ

VOL.
32

2012 WINTER



- 01**・たたかえ！ヒガシヤマン
- 02**・もくじ
- 03**・東山schedule
- 05**・【特集】東山再発見
- 08**・ヒガシヤマQ&A
- 09**・ワークショップななめ読み
- 10**・おも検／季節のイラスト
- 11**・ステージサポートプラン
- 13**・Higashiyama Youth



イラスト
水野里織【大阪デザイン専門学校1回生】

空腹を充たすために食べるスナック菓子のように、
東山の情報もかじってほしい。
ヒガシ(干菓子)のイメージからくる季節感や彩りも
添えて。ヒガシガシは、そんな情報誌です。

東山schedule 2012

		1月	2月	3月
日	月	水	木	
1	日			
2	月		木	金
3	火		金	土
4	水	土		日
5	木	日		月
6	金	月	②	火
7	土	火	①	水
8	日	水		木
9	月	木		金
10	火	金		土
11	水	土		日
12	木	日		月 ⑤
13	金	月	③	火
14	土	火		水
15	日	水		木
16	月	木		金
17	火	金		土 ⑥
18	水	土		日 ⑥
19	木	日		月 ④
20	金	月	③	火
21	土	火	①	水
22	日	水		木
23	月	木		金
24	火	①	金	土
25	水	土	④	日 ⑤
26	木	日	④	月 ④
27	金	月	③	火
28	土	火		水
29	日	水		木
30	月	②		金
31	火	①		土

■は休館日です

① 陶芸ワークショップ「haruうらら♪お花見セット」

手びねり、たたらで成形をして、器など自由に作陶します。釉薬は春らしい明るい色を使用し、春が待ち遠しくなるような作品に仕上げましょう。

日 時:1月24日~2月21日(毎火曜日/全4回)18:30~20:30

*2月14日はお休みです。

定 員:15名(最少催行人数8名)

参加費:3,000円(材料費込み)

*5~8点の作品ができます。

ナビゲーター:東 好美(陶芸作家)

申 込:要予約 先着順にて受付中。



② 木工ワークショップ「木の端材でつくる小物たち」

初めて木に触れる方のきっかけに。切断・削り・穴あけなどの木工の基礎的な技法を体験できます。端材から好きな樹種を選んで、小物やオリジナルアクセサリー作りはいかがですか。

(ブローチ・ピンバッヂ・ネックレス・ストラップ・ヘアゴムなど)

日 時:1月30日・2月6日(毎月曜日/全2回)19:00~21:00

定 員:15名(最少催行人数8名)

参加費:1,500円(材料費込み)

*木のアクセサリー1点の作品ができます。

ナビゲーター:山本 雪乃(木工作家)

申 込:要予約 先着順にて受付中。



③ ガラスワークショップ

「ガラスのアクセサリーとオリジナル鏡」

自分でデザインをしてガラス板を組み合わせて焼成する、ヒュージングという技法で、アクセサリーを作りましょう。また、サンドブラストで鏡を削り模様をいれて、手軽にオリジナル鏡ができあがります。

日 時:2月13日~2月27日(毎月曜日/全3回)

18:30~20:30

参加費:1,500円(材料費込み)

*アクセサリー1点、鏡1点の作品ができます。

ナビゲーター:佐藤 聰(ガラス作家)

申込:要予約 先着順にて受付中。



④ 造形ワークショップ 「話をつくるⅡ」

今回は出会った人たちと一緒に作る中で生まれる作品づくりを楽しんでいただければと思います。グループでストーリーを組み立て、そこから出てくるキャラクターを創造し、造形作品を作りあげ、ロビー展示後、品評会(交流会)を実施します。



日 時:2月25日(土)・26日(日)14:00~18:00

3月19日(月)18:30~21:00

3月26日(月)19:00~20:30(全4回)

定員:12名(先着順)

参加費:3,500円(材料費込み)

ナビゲーター:An-rew(陶土生物作家)

東好美さん(陶芸作家)

⑤ 東山アートスペース作品展

東山アートスペースは、知的な障がいのある青少年の余暇活動支援を目的としたアトリエ活動を行っています。今回、1年間の活動の中から生まれた作品の展示を行います。作者の性格や、楽しい会話、真剣な眼差しが目に浮かぶような作品たちばかりです。ぜひ、ご覧ください。

期 間:3月12日(月)~25日(日)

☆開館時間中、ご自由にご覧ください。

⑥ ココロからダンスWS #7修了公演

昨年11月から始めた、創作ダンスワークショップの修了公演です。ひとつのテーマに沿って集まつたみんなでしかできない作品を創りあげます。ぜひ、ご来場ください。

日 時:3月17日(土) 19:00

18日(日) 14:00

*開場は開演の30分前です。

入場料:前売700円(日時指定でのご予約)

当日1,000円

会 場:東山青少年活動センター 創造工作室

☆チケット取り扱い・予約

東山青少年活動センターにて

2月18日(土)10:00より受付ます。

直接来館か電話(075-541-0619)

E-mail(higashiyama@ys-kyoto.org)へ

お名前・来場日・人数を明記の上、ご予約ください。

【①②③④の事業について】

対象:京都市に在住もしくは在学・在勤
されている13歳から30歳までの方

*いずれの事業も会場・問い合わせは京都市東山青少年活動センターです。TEL 075-541-0619
受付日より、直接来館、または電話・E-mailにて
先着順受付。

東山再発見

特集

「これどこの写真ですか?」と思わず聞いてしまう、繊細な感性が写し出されたような、違った角度からみた景色。声さえ聞こえてきそうな、暖かいものを感じる。

写真を通して“キッカケ”づくりを目指す、草本利枝さんにお話を聞かせていただきました。



写真家 草本利枝さん

●—現在のお仕事について教えてください。

音楽のジャケット写真や雑誌の写真を撮影しています。昔東京に住んでいたのでその縁で東京からお仕事をいただいたりしています。

●—写真はどこで勉強されたんですか?

私は京都の学校を卒業して東京で就職したんですけど、働きながら夜に写真の専門学校に2年間通いました。その専門学校で渋谷とか新宿なんかの人があうようよいいる街中に行って、スナップ写真を撮るっていう課題が出されました。カメラのレンズは50mmが人間の目で見たまま撮れる標準のレンズです。私の場合は、その学校の先生に「草本さんは35mmがむいてる」と言わされました。35mmのレンズはちょっと広角ワイドに写るレンズです。それで、35mmレンズで撮りに出かけたんですけど、人を撮ろうと思ったら広角だから、かなり近づかないと撮れないんですよ。普通に撮ると小さく写っちゃうので。課題の写真を撮りに行って、歩いている知らない人をバシャバシャ撮っていると、写された人は不審に思いますよね。もちろん怒られたこともあります(笑)。でもそこで人との距離の計り方を勉強しました。それは対人だけでなく、対風景でも対物体でも同じことなんですね(笑)。

●—京都では主にどんなことをされていますか?

東山青少年活動センターの知的障がいのある青少年の余暇活動事業「表現活動へのお誘い～からだではなそう～」に関わらせていただいていて、写真撮影をしています。その他にも、同じように障がいをもつた方を対象にしたコンテンポラリーダンスのワークショップの撮影もしています。

●——障がい者とダンスの空間はどんな雰囲気ですか。

「表現活動へのお誘い」はバッと見たら、障がいのある青少年たちが先生に教わっているダンスの教室とみえます。でもこの事業は「先生」ではなく「ナビゲーター」が参加者たちとダンスをしています。「ナビゲーター」が参加者たちから“何か”魅力を引き出していく、ナビゲーターもボランティアも参加しているみんなが、すごく対等な関係にみえます。強制的でなくて、自由な時間を過ごしている、その雰囲気が不思議で面白いと感じます。レンズを通してみると、参加者とナビゲーターとの関係性が時に、逆転していく様子を感じられます。いろんな意識が行き来して、人と空間の枠組みがない、そういう雰囲気がいいなと思っています。

●——写真を通してどんなことを伝えたいですか。

撮っているうちに「ああ、面白いな」と思ったことを伝えたいです。この場所を知らない人ともその面白さを共有できたらいいなと思っています。東山青少年活動センターに来て、「表現活動へのお誘い」に参加している人たちや、保護者の方たちに参加の様子をみてもらいたいというのあります。ですが、ここに来れる方は、金銭的にも、時間的にも、おそらく余裕があって、参加するためのサポート体制が整って、恵まれている方たちなんだと思います。だから、もっともっと多くの人たちにこの活動を知ってもらいたいと思います。

それから、「知的障がい者」でひとくくりにしてしまはずに、それぞれが当たり前にもっているいろいろな背景を映し出せたら面白いなと思っています。

●——では、活動に関わっていて課題と感じることはありますか？

知的障がい者でも、もっと外に出られると思うんですね。例えば私たちがどこかお茶しに行こうかとか、飲みに行こうかとか、ご飯食べに行こうというように。私の写真が、気軽に外出するために何が必要なのか、みんなが考えたり話し合うキッカケになればいいなと思います。



●——写真の面白いところを教えてください。

スナップ写真でも、他の撮影でも同じなんですが、考えていたイメージを良くも悪くも裏切られることが多いんです。自分でこう撮りたいと思っても人が横切っちゃうとか(笑)。でもそういう偶然性が面白い。それで思い通りにいかなくて、さらにじゃあ私はどう反応して撮るかを考える、そこが写真の面白いところですね。

衝動的にシャッターを押してしまうことがよくあります。先日東北に取材に行く機会がありました。報道を通じて、状況はなんとなくわかっているつもりでした。でも実際足を運ぶと想像と違うことがたくさんあるんですよね。写真は足を運ばないと撮れなくて、そこで言葉では言い表せないものを感じたときに、本能的に撮ってしまいます。後から「なんでこれを撮ったんだろう」って自問することもあります。何のために撮って、どう伝えていくかは「写真家」として難しくもあり、面白いところだと思います。

●——被災地はどのように写りましたか？

どこに行っても瓦礫の山という風景が続いている、恐ろしく静かな中、カラスやカモメがたくさん飛んでいました。彼らは雑食で、生きるためにいろんなものを食べ歩いて…まさに生と死を両方みている感じ。私が行った

のはもう半年くらい経ってからなので、塩を被った土はもう植物が生えないって言われていたけど、雑草やお花なんかも咲いていました。

●—被災地での撮影はどうでしたか？

被災地の方と話す機会があったんです。その方は涙を流しながら話してくださったんですが、写真は撮れませんでした。涙はその人の悲しみ、苦しみ、辛さが噴き出している瞬間だから、写真は絵になったと思うけど、撮つていいのかどうかの葛藤がありました。もっと時間をかけてその人とじっくり向き合えれば、撮れたのかもしれません。

●—写真を撮ることで大切にしていることはありますか？

時間や場所の制約がある中でどれだけ丁寧に対象と向き合えるか、どれだけ工夫できるか、先入観にとらわれずにどれだけ自分の目線で感じとれるかが大切だと思っています。

●—写真を撮るコツを教えてください。

風景写真みて、「三脚で撮ってるんですか」って言われることがあるんですけど、私の場合は出会ったその



時の風景を撮っていく、スナップ写真です。歩きながらアッと思ったものを撮ったり、そうしていくと何枚かに一枚奇跡的な写真が撮れることがあります。あまり「撮つてやろう」って考えないで枚数を撮るのがいいのかな。

●—最後に今後の展望をお願いします。

そのうち今まで撮りためたワークショップの写真展をしたいと思っています。展示だけでなく、実際にワークショップをしたり、日ごろの雰囲気が感じられるようなものにしたい。みんなが素敵な瞬間を見てもらいたいのはもちろん、様々な声を拾えるような「場」をナビゲーターや保護者、そして参加者の方たちと一緒につくれたらいいなと思います。

●取材/編集 夏原理恵

ボランティア募集！

表現活動へのお誘い ～からだではなそう～

◎内容

知的な障がいのある青少年の余暇活動支援を目的としたプログラムです。カラダを使って楽しくコミュニケーションをはかります。

◎対象

京都市にお住まいもしくは、通勤・通学先が京都市内にある高校生年代～30歳の方。

◎日時

毎月2回、土曜日。
13:00～16:00
(ミーティングの時間含む)



ヒガシヤマ Q&A

A. 習い事を増やすこと

自分を磨くために習い事を増やす予定だったけど、気がつけば2011年も終わり。来年こそはッ！

チャニ=キリ（19歳／女性）

——自分磨きすごいです。頑張って下さい！

A. バンド。就活の勉強。

バンド：3年やってきてここで終わりたくないです。あと1年やりたい…！そしたらまあ満足？就活の勉強：やるやる言うでやってない…orz やりますー！！かた（21歳／女性）

——やりたいこととやらなければならないこと…

A. 恋

ふられたから。なし子（20歳／女性）

——まだまだチャンスはあるハズです！

A. ハモネブにでる。トランペットを買う。青春したい！やりたいことがあったのに、いつも中途半端やから。全部やりたい！席（19歳／女性）

——やりたいことがたくさんあるのは青春の証！

A. 京都めぐり

就活や卒論に時間をとられてしまい、出かける時間がなかったから。まき（22歳／女性）

——ひと段落したら京都の町を楽しんでくださいね

A. 貯金・減量・早起き

欲望のままに生きてしまいました。人間として向上心は忘れてはいけません。来年こそは達成したい！

鳥賊（23歳／女性）

——何かひとつできれば、全てうまくいく予感！

Q. 「2011年、やり残したことは？」

A. 貯金

たくさん使ってしまった。これから、いろんな所に出かけたいのに、出かけられないよー

N a n a *（18歳／女性）

——お金ってあるとついつい使ってしまいますね。

A. ハモネブである！！！！

全国大会までいって、日本中を震撼させるべ。れーな♡（19歳／女性）

——歌声が日本中に届きますように…。

A. ライブを見に行きたい

1年くらいライブを見に行ってなくて。

M K T（21歳／男性）

——どんなグループが好きですか？

A. 一つだけ出られないステージがある。

コーラスしているんですが、ステージだけはどんなに忙しくても皆勤賞目指してたのに…。あまりにも練習にこれないので、あきらめました。

はま茶（19歳／女性）

——少しずつ！！一歩ずつ！！

A. 就活対策

S P I や一般常識などなど…本を一冊終わらせる予定だったのに。うた（21歳／女性）

——あせらずに頑張っていきましょう！

A. ヤマハグレード4級試験合格。

2011年中に合格を目指していたけど、こないだ落ちたから。わだっち（19歳／女性）

——来年こそ合格を目指して頑張って下さい。

**work
shop**

↑ ものづくりワークショップ By Hand 「電動ろくろ&手びねり」



毎年人気の陶芸ワークショップ。

参加者には土練り、ろくろ成形、手びねり成形、削り、施釉の工程をていねいに6回かけて経験していただきました。そして最終日は、作品を使っての品評会を行ない、交流をはかりました。

【開催日時】平成23年11月1日

～12月13日(毎火曜日/全7回)

【参加者】 10名

【ナビゲーター】 湯波 隆（陶芸家）

今村 裕華(陶芸家)

参加者の感想

- いろんな人と話したりしながら、ものづくりができて楽しかった。
 - 改めてものづくりの良さ、楽しさを感じることができました。同世代の人、自分より少しお兄さん、お姉さんたちと交流できてよかったです。
 - 電動ろくろでの力加減が難しかったです。
 - 土から器ができるまでを楽しみながら、みなさんと一緒に作業ができてよかったです。
 - 電動ろくろの「土殺し」が難しかったです。
 - 一からすべての工程を体験できたことも、作品を作ることを通してみなさんと仲良くなれたことも、本当に楽しかったです。



今回、陶芸を体験したことのある方が多かったこともあり、おしゃれな喫茶店に出てくるような、実用的な作品が多く生まれました。初めての方も、回を重ねるごとにイメージが膨らんでいき、蚊取りブタや小瓶など個性のある作品に仕上がりしました。

また、つくった作品を日常的に使うことができるのも陶芸ワークショップの魅力です。「このサイズなら、ほうれん草のおひたしですね」、「帰ったらお花生けてみます」というような声もきかれました。

おも検、

ヒガシガシボランティアが、ちょっと気になる噂を検証する、おもしろ検証コーナーです。
テーマ：学園祭で残ったポップコーン♪ 一番おいしいアレンジは？



【方法】

11/24、12/6の2日間に、センターに来館された方に3種類のポップコーンを食べていただき、一番おいしいと思った味に投票してもらいました。ご協力いただいた60名のみなさん、ありがとうございました。

◎抹茶

豆と共にグリーンティを入れて、加熱する。

◎コンソメ

コンソメ粉末をでき上がったポップコーンにふりかける。

◎ごま油醤油

ごま油：醤油=3:4くらいの割合で混ぜあわせ、できあがったポップコーンに絡ませる。

(ヒガシガシ調べ)

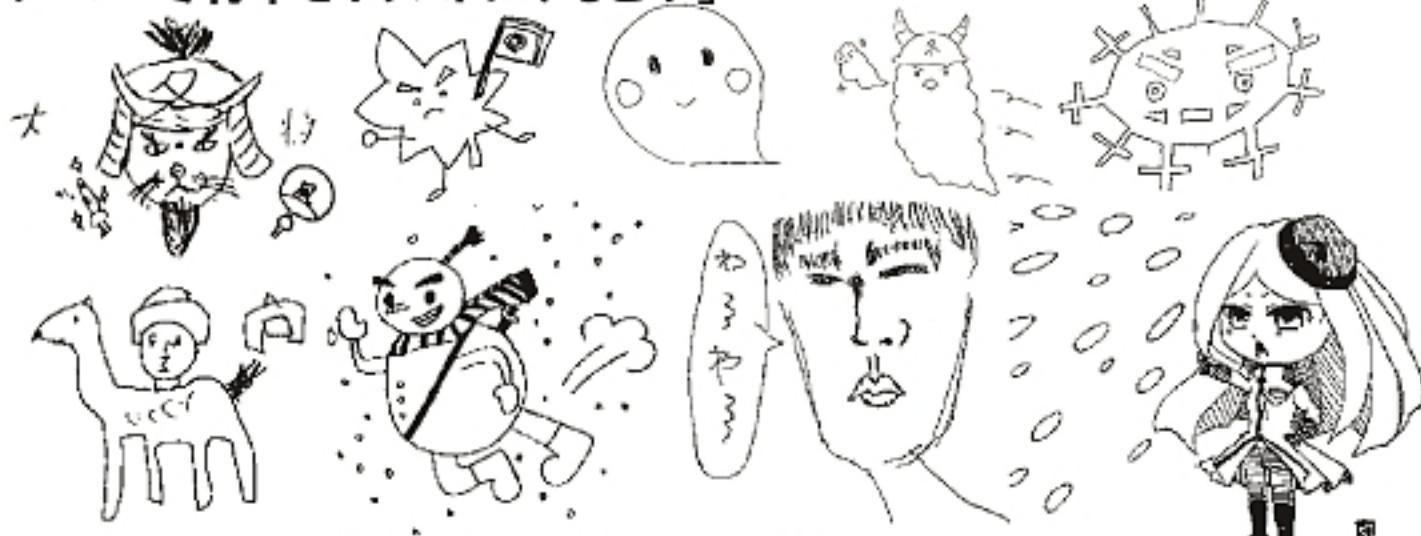
1位はコンソメ！しかし、ごま油醤油の作り方を2日目から変更したため、結果に変動がありました。アレンジ自在なポップコーン♪ いろんな味を試してみると面白いですね。

●検証・編集：ヒガシガシボランティア

季節のイラスト

テーマ：「冬将軍をイラストにすると？」

冬将軍とは、厳しい冬の様子を擬人化した表現です。
個性派揃いの将軍たちになったのではなかっただろうか。



このコーナーでは、テーマにそったイラストを募集し、いくつかの作品を紹介しています。

●編集：水野里織(大阪デザイナー専門学校1回生)



STAGE SUPPORT PLAN

ステージサポートプラン

1月～3月

東山青少年活動センターが自主公演の支援をします。初心者から経験者まで、いろんな人たちに東山にある創造活動室を利用してほしい。だから次のようなグループの公演を応援しています。

- ① First Trial (活動経験の浅い人たち)
- ② チャレンジ! (何か新しいことに挑戦しようという人たち)
- ③ 東山のおススメ! (京都でがんばって活動している人たち)

★詳しいことのお問い合わせは→東山青少年活動センターへ

<http://ys-kyoto.org/higashiyama>

HPでも
ご覗けます。

応募方法

*応募には まず、担当者にご相談ください。

*企画書の提出(公演希望日、公演内容やセンターで公演をしてみたい理由を書いてください)
..... 公演しようとする月の4ヶ月前の20日まで

*個別面談 応募された全てのグループと面談(応募締切日より10日以内)

*決定 東山青少年活動センタースタッフとボランティアで選考の上、支援公演を行っていただけるグループを決定。(公演しようとする月の4ヶ月前の月の末日)



創活番ボランティア募集中!

「創活番」とはステージサポートプランのお手伝いをするボランティアチームです。この度、新メンバーを募集しています。
何か新しいことを始めてみたいと思っている方におすすめです。
照明や音響、舞台の知識も身につきます。詳しくはお問い合わせください!



■笑の内閣

「ヅッコケ3人組の 稽古場有料化反対闘争」

※詳細はHP・Twitterをご覧ください。

【HP】<http://www.geocities.jp/>
waraino_naijaku/
【Twitter】@waraino_naijaku(総裁)
@warainonaijaku(情報)

1/20(金)18:00
21(土)13:00/18:00
22(日)13:00

前売 1,500円
当日 2,000円

○お問合せ...
waraino_naijaku_u
@yahoo.co.jp



■ 京都府高等学校演劇連盟南部支部伏見地区四校
「如月演劇祭」

京都橘高校、京都女子高校、洛水高校、立命館高校の四校の演劇部で集まって、合同公演を行います。ぜひ見に来てください!

【HP】<http://blog.goo.ne.jp/engekids>

2/4(土)14:00

5(日)10:30

入場無料

○お問合せ…

立命館高等学校演劇部
詳しくはブログをご覧ください。



■ A Bubble Circus
「魔法のランプ(仮)」

どんな願いも叶えてくれる不思議な力を
持ったランプの魔人。その力を使って皆
の願いを叶えていくのですが…、そんな
物語仕立てのマジックショーです。

3/9(金)18:00

10(土)14:00

前売・当日共500円

○お問合せ…

chibisuke_y@yahoo.co.jp
090-9879-3788(河合)

※すべての演劇公演の開場は開演時間の30分前です。



■ 演劇ユニットさぎ集団
「ゴールデンプラムワイン
～不倫は文学だ。～」

中国四大奇書の中で最も影は薄いが、中身が濃すぎてドロドロの愛憎劇を、フレッシュな高校生達がプリプリのポップなコメディにしてお贈り致します。

3/24(土)13:30/18:00

25(日)13:30

前売 1,000円

当日 1,200円

※東山区民、小中高生は500円
(証明できる物を持参)

○お問合せ…

090-1960-3635(三谷)

Higashiyama Youth

東山センターを利用している青少年にインタビュー

今回は高齢者ボランティアサークル「あんこ」の中村さん(部長)と山村さん(副部長)にお話を伺いました。お2人からは、お年寄りに対する温かい心が伝わってきました。

平成12年に発足した華頂大学・華頂短期大学の学生が中心の高齢者ボランティアサークルです。現在はメンバー9名。他大学の学生も募集中です。

——グループについて教えてください。

中村：東山区には社会福祉協議会が実施している「健康すこやか学級」という、高齢者の社会参加の促進及び介護予防に関する意識の向上を図ることを目的とした事業があります。平成12年に、東山区社会福祉協議会から華頂短期大学へ、学生の協力の依頼があったことが、サークル発足のきっかけです。私たちが入った頃は、部員が全員卒業してしまってほぼ休部状態でした。それで私たちで復活させようと介護福祉士の勉強をしている人たちなどに声をかけました。

——グループ名の由来は？ あんこ好き？

中村：初代の部長さんが、「光庵さん」という方でその苗字を逆さまにして、「あんこ」になったそうです。

——活動内容を教えてください。

山村：基本的には大学のある粟田学区の「健康すこやか学級」でのお手伝いです。午前中は、バイタルチェックをします。その後、会長のお話を聞いてみんなで楽しく話しながらご飯を食べた後、午後から体操や、レクリエーションを行います。

中村：私たちは主に、午後からのレクリエーションの企画、進行を行っています。

——今日は漢字の「偏」と「旁」のパズルをされていましたが、他にはどのようなものをしているんですか？

中村：普段は身体を動かすレクリエーションが多いですね。例えば、風船バレー。

山村：卓球バレー、絵しりとり、伝言ゲームなどもしました。終わった後に「今日、楽しかったよ」と言ってもらえると嬉しいし、「難しかったわ」と言わされたら、どうしたらもっとできるようになるかを考えながら、企画をしています。

——活動の中で心がけていることはありますか？

中村：やはり一番は危険がないかということですね。楽しいレクリエーションを考えるのはもちろんですが、そこにどんな危険があるのかを考えることを一番に心がけています。

山村：私は関わる方にはまず、自分自身のことを話してから、相手のことを聞くように心がけています。話しかけてる相手がどんな人のか何も分からなかつたら、誰でも不安だと思うので。

——東山青少年活動センターではどんなことをされていますか？

山村：サークルOB・OGを講師に招いて研修や勉強会をしています。トイレ誘導時の声かけ方法やおむつ交換のやり方など、どうやったら利用者の負担にならないか、体験談を交えたお話を聞き、実際にメンバー同士での実習を行なっています。

——自分にとっての活動時間とは？

中村：私は、勉強だと思っています。高齢者の豊富な



知識に触れられるということと、学校では介護の勉強をしているので、自分の経験にもなっています。

山村：そうですね。勉強もそうですし、この活動に笑顔で来てもらって、笑顔で帰ってもらえる、家族のような空間にしたいです。

——活動の中で嬉しいと思う時はどんな時ですか？

中村：名前や前回話したこと覚えていてくださった時です。私、鉛筆の持ち方がヘタで、ある方に「ヘタやなあ」と言っていたんです。その方が、次の活動の時に、鉛筆の正しい持ち方が書いてある新聞記事と、持ち方を矯正する物をもってきてくださったのがすごく嬉しかったです。

山村：大学がすぐ近くなので、みなさんによく会うんですよ。外で声をかけていただけだと嬉しいですね。

——活動の中で辛かったことはありますか？

中村：私たちが先輩がいない状態で始めたので、サークルの動かし方などがわかりませんでした。今はいろんな人に助けられて、だいぶ機能するようになりましたが、その時は辛かったなと思います。

山村：最初は全然知らない高齢者ということもあり、会話が続かなくて…、コミュニケーションの難しさを痛感しました。

——今後、高齢化社会が進みますが、どんなことに課題を感じますか？

山村：高齢者の方たちは外出といえば、買い物に行くだけなんです。だから、もっと多くの方にこの活動を知ってもらい、高齢者の社会との接点が増えてほしいと思います。



——では、今後の展望は？

中村：東山区は高齢者がとても多い地域です。そのなかの粟田学区だけが「健康すこやか学級」に学生が関わっていると伺いました。なので今後、東山区の他の学区や、京都市内全域で“学生が高齢者に関わる”という形が広まればいいなと思っています。

——最後に、PRをお願いします。

山村：高齢者が好きな方はぜひ一緒に参加していただきたいです。介護、介助を学ぶことはもちろん、楽しく関われる場所です。興味のある方は、華頂に限らずどなたでも気楽に来てもらったら嬉しいです。

中村：一緒にレクリエーションを楽しんでもらう人が増えたらいいなと思っています。いろんなタイプの話し相手が増えることも、高齢者には楽しい刺激になると思います。

山村：今は女性部員しかいません。でも、男性は男性にしか話せないこともありますし、女性も、男性と話すと活き活きされます(笑)。なので、男女構わず募集中です!!

取材/編集：谷口 愛理(京都橘大学3回生)
鈴木けい(京都女子大学2回生)